



おとふけ

社協だより

No. 153

発行 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会 音更町大通 11 丁目 1 番地 ☎ 0155-42-2400
E-mail : otofuke-shakyo@rainbow.plala.or.jp
HP : <http://otofuke-shakyo.jp>

令和 4 年 6 月 24 日



JAIFA 帯広協会様より車両のご寄付をいただきました

“福祉まつり in おとふけ”の 中止について

例年 7 月に開催しております「福祉まつり in おとふけ」につきまして、誠に残念ですが、現在の情勢を踏まえ昨年度に引き続き、今年度も開催を中止とさせていただきます。

代替イベントを 11 月頃に予定しております。

詳細が決まりましたら改めてご報告いたします。

Facebook
更新中

本会で実施している事業等、最新の情報を随時発信しておりますので、ぜひご覧ください。

スマートフォンの方は
こちらから▼



令和4年度 社協の事業について

令和4年度は、音更町社会福祉協議会として初めて策定した「地域福祉実践計画」を広く町民の皆様にご理解をいただけるよう取り組むとともに、音更町老人クラブ連合会創立50周年事業、生活困窮者の食料支援に向けた「フードバンク事業」、2年間中止となった福祉まつりに感染対策を講じて実施する「福祉フェスタ」など、ウイズコロナの事業を展開してまいりたいと考えておりますので、皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社協会員の加入促進

町内会及び社協推進員の皆様のご協力により、町民の皆様へ理解を求め、会員の加入促進に取り組めます。

社協だより・ホームページ等による周知

年4回発行する「おとふけ社協だより」と社会福祉協議会ホームページ、Facebookにより社会福祉協議会の活動状況やボランティアの情報を発信しています。



ホームページアドレス <http://otofuke-shakyo.jp/>

老人クラブ連合会事務局業務

役員会の開催、単位老人クラブへの支援、各種研修や大会の運営等、老人クラブの推進に努めます。創立50周年事業を実施します。

生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターの配置及び協議体を設置し、各種事業を推進しながら地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

①地域交流サロン活動の普及促進

住み慣れた地域で「生きがいつくり」「健康づくり」のために行われる「地域交流サロン活動」を普及促進します。また活動に係る経費の助成、傷害保険の加入を行います。

②地域住民のニーズ把握

住民座談会や出前講座を通して、地域住民のニ

ーズ把握に努めます。

③協議体の運営及び住民向け講演会の開催

地域の多様な主体がメンバーとなり、より良いまちづくりを目指した協議の場を進めるとともに、住民理解を深めるための講演会を開催します。

④地域農園事業

生活の基盤となる身近な地域において、農作業を通じて外出の機会、社会参加の場を創出し、参加者同士の「支え合い」の関係構築を目指し、他の社会福祉法人等との共催により実施します。

⑤ラジオ体操の取組み

地域でのラジオ体操の活動に対し、広報等の必要な支援を行ないます。

⑥スマホ講座の開催

高齢者が受講することにより、情報の取得やSNS等のコミュニケーションのツールとして、活用の幅を広げることを目的に実施します。

ボランティアセンター事業

①ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する情報提供体制を整備するとともに、安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア関連の保険窓口業務、活動の需給調整等を行い支援します。

②災害ボランティアセンターの設置運営準備

有事の際の災害ボランティアセンターの設置に向け、北海道社会福祉協議会との共催による「災害ボランティア養成」等の研修会を行います。

③おとふけ生きいきポイント事業

町内に住所を有する65歳以上の方が町長の指定する福祉施設等でボランティア活動を行うことにより、ポイントが付き、貯めたポイントに応じて換金することが出来ます。

④ふまねっと活動の普及促進

高齢者の歩行機能の改善や認知症の予防等に効

果が期待されている「ふまねっと」という道具を用いて、地域全体で取り組んでいただけるよう支援します。

「ふまねっと」の無料貸出しも行っています。

福祉フェスタ(仮称)

例年開催している「福祉まつり」とは別な形として、感染防止に努めながら規模を縮小してのイベントを企画します。

歳末ふれあい事業

歳末たすけあい運動における募金をもとに、一人暮らし高齢者等を対象に、コロナ禍の状況を考慮しながら様々なツールを活用した交流事業を企画・実施します。

福祉用具の貸出

介護保険等の福祉制度が適用されない町民に対し、車いすをはじめとした在宅で生活するうえで必要となる福祉用具を一時的に貸出します。

ひとり親家庭支援事業

歳末たすけあい募金をもととして、民生委員の協力を得ながら18歳以下(高校3年生まで)のお子様を養育しているご家庭へ年末に図書カードを配布いたします。

喫茶はっぴい~事業

総合福祉センターにて、ボランティア、地域住民の交流の場、また障がい者の社会参加の場として運営します。

※新型コロナウイルス感染症拡大を受け、営業時間を変更する場合があります。



認知症カフェ事業(オレンジはっぴい~)

「喫茶はっぴい~」を会場に、認知症の方と家族、地域住民、専門職等、誰もが気軽に参加することが

出来る場。お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中で交流や介護相談等を行います。

※開催時期については今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により判断します。

音更町ふれあいの家支援事業

「誰もが気軽に集まれる交流の場」「地域の身近な小さな拠点」「住民が主体の運営」を基本とし、空き家を活用した交流の場の設置運営に係る費用の一部を助成します。

帯広大谷短期大学との連携事業

①本会事業との連携

本会で実施している各種事業に学生に参加協力いただき、参加者との交流をいただくほか、事業に応じて企画の段階から短大と協議しながら進めます。

②福祉学習の推進強化

子どもたちに福祉や障がい、ボランティアに対する理解促進を図るため、短大と協働で作成した「福祉の学習支援プログラム」を基に福祉の学習を推進します。

③学生サロン「元気」の再開

学生が主体となり企画・実施する地域交流サロンを開催します。

権利擁護事業

①日常生活自立支援事業

認知症や障がい等により、判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスの利用手続き援助や日常的な金銭管理等の支援を行います。

②音更町成年後見サポートセンター事業

音更町より委託を受け、成年後見制度の啓発や相談に応じるほか、市民後見人養成研修修了生に対するフォローアップも行います。その他、新規の市民後見人の養成研修会の開催及び権利擁護支援の中核となる機関として、地域連携ネットワークの構築に努めます。

③法人後見事業

家庭裁判所からの選任を受け、社会福祉協議会が成年後見人等になり、法人後見支援員との協働により、被後見人の身上監護や財産管理事務等を行います。

コミュニティサポート事業

コミュニティサポーターの養成

「誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり」の一環として地域で活動していただくコミュニティサポーターの養成講座及びフォローアップ研修を開催します。

①見守り訪問事業

在宅で生活をしている認知症の症状がある方を対象に、研修を修了した「コミュニティサポーター」が、話し相手や介護者不在時の留守番、本人との趣味活動等の見守り支援を行います。

②あんしんお預かり事業

何らかの理由により一時的に生活を維持する為の払い戻しや支払いが出来ない状態になり、他に適切な支援者が不在の場合、利用希望者との契約により通帳の預かりや入出金の支援代行をします。

③緊急時安否確認（鍵預かり）事業【モデル事業】

申請により登録したひとり暮らしの高齢者の自宅のカギを預かり、コミュニティサポーターや地域の関係者の協力のもと見守り活動を行ないます。

緊急時には関係機関との連携により入室し安否確認を行ないます。

なく必要な資金の融資を他から受ける事が困難な世帯や、障がい者、高齢者のいる世帯の生活安定、向上を図ることを目的に様々な貸付資金の相談窓口となります。

併せて令和2年3月25日からは新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付（緊急小口資金及び総合支援資金）の受付を行っています。

②生活困窮者に対する安心サポート事業

北海道社会福祉協議会との協働により、制度の狭間の生活困窮などの様々な課題を抱える人に対し、自立相談支援機関等の関係機関と連携し、概ね3万円を限度とした経済的援助を現物で給付します。

③応急生活資金貸付事業

生活保護世帯等の生活に緊急を要する際、小口資金の貸付を行います。

④フードバンク事業【新規】

生活が困窮した状態となり、当面の食料等がない世帯に対し、町民等から募った食料等を提供することにより本人の自立に向けた意欲の向上と食品ロスの削減に寄与します。

生活支援事業

①生活福祉資金貸付事業

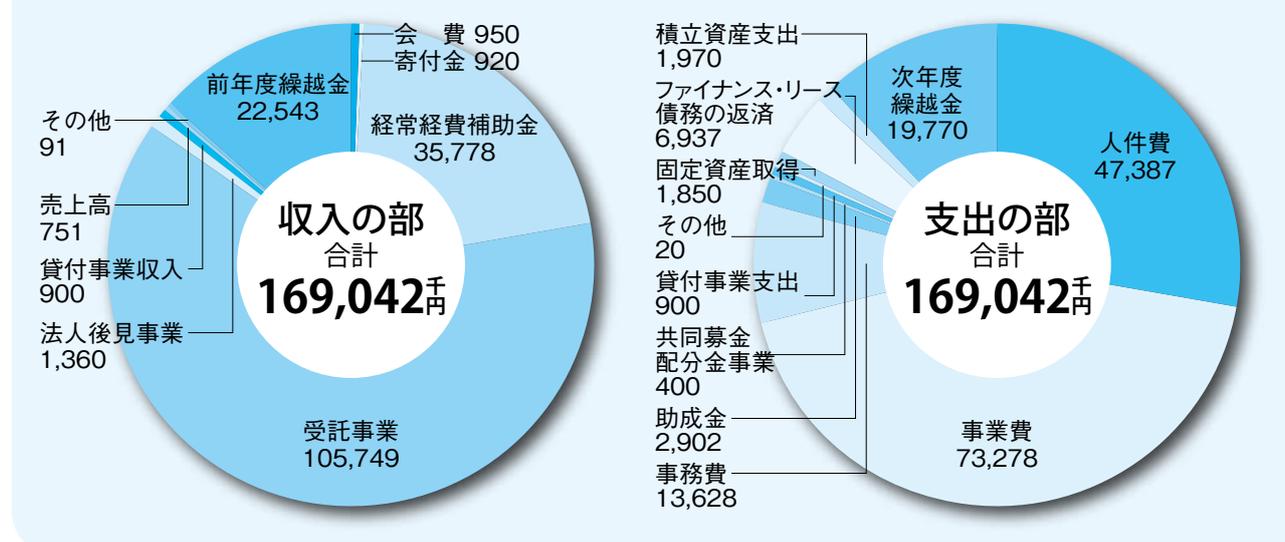
北海道社会福祉協議会より委託を受け、収入が少

高齢者就労センター

町内在住の概ね60歳以上（80歳未満）で健康な方に様々なお仕事を紹介します。

男性、女性、資格や免許に応じ、会員登録者に適した就労の場を確保します。

令和4年度収支予算（単位：千円）



令和3年度 事業報告

令和3年度実施事業について以下のとおり報告します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定していた幾つかの事業を中止とさせていただきます。

地域福祉部門

□生活支援体制整備事業

- I. 地域交流サロン活動の普及促進
 - ・町内21か所のサロンを後援
 - ・広報活動、傷害保険の加入、活動費の助成等
- II. 協議体の運営及び住民主体の地域福祉活動の推進
 - ・地域でのラジオ体操 2カ所
 - ・地域農園の実施 1カ所 20回(延175名参加)
- III. みんなで学ぶスマホ講座
 - ・基礎編(1月19日) 10名参加
 - ・応用編(1月26日) 7名参加

□ボランティアセンター事業

- I. ボランティア登録及び調整状況
 - ・個人ボランティア登録数 24名
 - ・団体ボランティア登録数 25団体(408名)
- II. 災害ボランティアの養成
 - ・災害ボランティア養成講座 中止
- III. おとふけ生きいきポイント事業
 - ・事業説明及び登録研修会 1回
 - ・事業登録者(ポイント手帳交付) 104名
 - ・受入機関 町内54事業所(社会福祉協議会を含む)
- IV. ふまねっと活動の普及促進
 - ・延教室開催数 35回
 - ・延サポーター参加数 103名
 - ・延参加人数 661名

□福祉まつりinおとふけ

- ・福祉用具の貸出 中止

□福祉用具の貸出

- ・車いす 59回貸出

□ひとり親家庭支援事業

- 142世帯(246名)へ図書カードを配布

□喫茶はっぴい〜事業

- ・営業日数 178日(9月休業)
- ・ボランティア延人数 185名
- ・利用者受入延人数 179名

□認知症カフェ事業(オレンジはっぴい〜) 中止

□帯広大谷短期大学との連携

- ・学生サロン「元気」の企画運営 中止
- ・福祉の学習の推進強化(町内小学校)

□歳末ふれあい事業(ワクワクお便り交流)

コロナ禍より他者との交流が減少している高齢者を対象に、帯広大谷短期大学介護福祉専攻の学英の協力を得て「お便り」を活用しての非接触型の交流事業を実施しました。
参加者 115名

□音更町ふれあいの家支援事業

地域の身近な拠点として空き家を活用した交流の場の設置運営運営にかかる費用の一部を助成しました。
助成対象 2町内会

生活福祉支援部門

□権利擁護事業

- I. 日常生活自立支援事業
 - ・生活支援員登録数 24名
 - ・サービス利用者 5名
- II. 音更町成年後見サポートセンター事業
 - ・成年後見講演会(市民後見人養成研修事前説明) 42名参加

III. 市民後見人養成研修(全7回) 10名参加

- ・法人後見支援員情報交換会 中止
- ・市民後見人フォローアップ研修 9名参加
- ・相談実績70件(新規42件・継続28件)

III. 法人後見事業

- ・受任件数 令和3年度末7件(継続7件・終了9件)

IV. コミュニティサポート事業

- ・コミュニティサポーター養成講座(7月2日) 8名参加
- ・サポーター連絡会(3月11日) 19名参加
- ・見守り訪問事業 受任件数 4件
- ・あんしんお預かり事業 受任件数 令和3年度末1件(継続2件・新規2件・終了3件)
- ・緊急時安否確認(鍵預かり)事業(モデル事業) 受任件数 1件

□生活支援事業

I. 生活福祉資金貸付事業

- ・緊急小口資金(本則) 3件
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う特例緊急小口資金 91件
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う特例総合支援資金 218件
- II. 生活困窮者に対する安心サポート事業
 - ・支援件数 2件

III. 応急生活資金貸付事業

- ・貸付件数 18件

高齢者就労センター部門

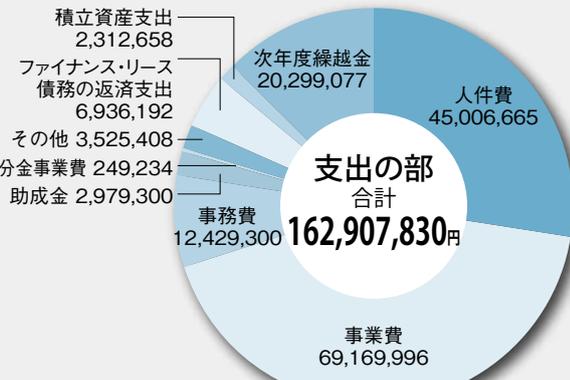
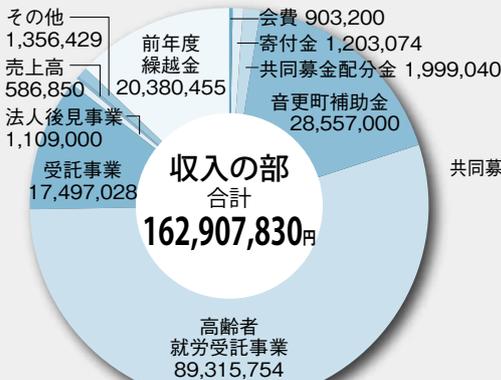
□公共業務

年間就労延人員 延6,623名 受託件数 21件

□民間業務

年間就労延人員 延4,247名 受託件数 1,324件

令和3年度収支決算 (単位:円)



令和3年度社会福祉協議会会費納入報告

沢山のご協力をいただき、誠にありがとうございました。ご協力いただいた社協会費を報告させていただきます。

世帯会員

(網掛けは町内会からの一括納入含む)

町内会名	金額(円)	件数(件)
東平和	2,600	
南中新政	2,400	
富士	2,400	
勲	3,200	
稲穂	13,000	1
宝来第1	4,000	
宝来第2	3,000	
宝来第4	4,000	2
ひびき野西町第1	7,200	
ひびき野仲町1丁目	2,000	1
ひびき野仲町2丁目	5,000	
ひびき野東町2丁目	5,000	
北宝来1	40,000	22
東旭	4,000	
旭	4,200	
北昭和	3,200	
東昭和	3,000	
中昭和	3,400	
昭和	2,000	
共和	1,800	
東昭栄	3,800	
昭栄	6,000	
北明	12,000	
新生	32,000	1
双葉	6,000	
三交	3,200	
にこにこ	6,600	
桜が丘	13,200	
桜が丘西	10,000	
北陽台	11,400	

町内会名	金額(円)	件数(件)
柏寿台	3,000	
雄飛が丘南区第1	13,000	1
雄飛が丘南区第2	16,200	
雄飛が丘南区第3	11,000	1
雄飛が丘中区第1	12,600	
雄飛が丘北	16,000	16
雄飛が丘中央団地	14,000	
六新	12,000	
七福	9,200	
新緑	2,600	
東栄南	9,600	
泉	7,000	
新泉	5,000	
若葉	13,400	
梢	2,000	1
北花園	27,000	
花園	14,000	
東住吉	30,000	17
開進	10,000	
楓	5,000	
柳町南区東	10,000	
柳町南区西	400	2
緑陽台北区第1	10,000	
共栄	22,500	
緑街	20,000	
むつみ	20,000	
共栄高台	10,000	
共栄台南	2,000	
共栄台東	9,200	1
緑陽	45,000	

町内会名	金額(円)	件数(件)
木野5	10,600	53
木野7	10,000	
木野西11	13,000	
木野新町	12,000	2
千隆	8,600	
青葉	10,000	
中鈴蘭	10,000	
北蘭東	200	1
北蘭西	30,000	
清和	1,000	1
鈴蘭	6,400	
鈴蘭公園通	3,000	2
然別	7,000	
大和	1,800	
東土狩	5,000	
矢部	5,000	
鎮鍊	3,800	
上然別	4,800	
北上	4,500	
北栄	1,000	
誉	3,200	
牧場	3,200	
北駒場	3,800	
東中音更	7,000	
光和	2,000	1
西大牧	800	
友進	2,200	
牧	2,000	
町外納入	1,000	1

賛助会員

会社名	金額(円)
音更町農業協同組合	30,000
㈱向平健康堂薬局	20,000
㈲笹本燃料店	20,000
木野農業協同組合	10,000
光明寺	10,000
㈱中島自工	10,000
宝来中央歯科	10,000

会社名	金額(円)
㈱のむら葬祭	5,000
㈲帯広保安資材	4,000
㈱山本忠信商店	2,000
水口印刷	2,000
帯広信金音更支店	2,000
㈱本別システム	2,000
三菱そうトラック・バス㈱北海道ふそう帯広支店	2,000

会費納入合計額

903,200円

世帯会員 774,200円
賛助会員 129,000円

社協の活動は皆さまの会費によって支えられています

社会福祉協議会（以下「社協」）は、地域の皆さまに支えられた民間の福祉団体です。

地域の皆様のお力を活かしながら、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指し、地域福祉を推進する役割を担っています。

行政による法律に基づいた福祉施策とは違い、住民主体の地域福祉活動の実施のため、社協会費への協力をお願いしています。

社協の財源は どうなっているの？

- ・音更町や北海道社会福祉協議会からの補助金・委託金
- ・社会福祉協議会会員からの会費
- ・共同募金からの配分金
- ・地域の皆さまからの寄付金
- ・高齢者就労センターや喫茶事業による収益



社協事業の
自主性を高めるために
自主財源の確保が
重要になります

- 世帯会員 ー□ 200円
 - 賛助会員 ー□ 2,000円
- （社会福祉施設、福祉団体、会社等）

納入方法

■現金をご持参いただく場合

社協事務局（音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内）にて受付いたします。
（平日 午前8時45分～午後5時30分）

■口座でお振込みの場合

音更町農協、木野農協のそれぞれに専用の振込用紙を用意しております。

※各町内会長より推薦をいただいております「社会福祉協議会推進員」がご家庭を訪問し、会員加入の協力をお願いする場合もございます。

問い合わせ：音更町社会福祉協議会 総務係 ☎42-2400

「音更町限定 寄付金付きピンバッジ」のご紹介

「赤い羽根共同募金」運動の一環として、音更町限定の寄付金付きピンバッジを作成しました。今年度は道の駅「おとふけ」（愛称「なつぞらのふる里」）の移転開業を記念して「音更大袖振大豆」をモチーフとしたキャラクターである「おおそでくん」が、駅長になったデザインとなっています。

販売額の500円から製作費を差し引いた金額が音更町の赤い羽根共同募金実績となります。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1個 500円（1,500個限定）

総合福祉センター・木野支所・町内各道の駅
向平健康堂薬局様にてお求めいただけます。



<ダイジェスト版>



計画期間
令和4年度～令和7年度

音更町社会福祉協議会（通称「社協」）は、「地域福祉の推進を図ることを目的」に発足した団体で、これまでも時代により変化する「地域課題」に合わせた事業を展開してきました。

この地域福祉実践計画は、今後目指すべき事業活動の方向性と果たすべき役割を再確認し、「わが町の社協がどのような福祉のまちづくりを目指しているか」を地域住民に対し明らかにするものです。

また、この計画は、「第6期音更町総合計画」を上位計画として策定された「音更町地域福祉計画」との整合性を図り、相互補完することにより、両計画を一体的に推進していきます。

基本理念 ㊦となも子どもも ㊧もに支えあい ㊨れあって ㊩んこうに暮らそう！
—スマイルタウンおとふけ—

基本計画1「みんなで支え合う地域づくり」

地域住民同士のつながりを深め、住民主体のつどいの場づくりや運営支援を行ない、高齢者から子どもまで全ての世代が主体的に活躍し、安心して健康に暮らし続けることができる地域づくりを推進します。

基本計画2「地域づくりを主体的に担う人づくり」

高齢者から子どもまで、全ての世代に福祉についての理解を広めながら、地域の課題を我が事として捉え、活動する地域福祉の担い手の養成に努めます。

基本計画3「安心して暮らし続けられる地域づくり」

誰もが住みなれた地域で安心・安全に暮らし続けることができるように、生活課題に応じた相談支援体制を整備するとともに、災害時にも備え、災害ボランティアセンターの設置・運営のための準備を進めます。

基本計画4「地域に理解され支持される社協づくり」

地域福祉を推進する団体として、行政や町内関係団体との連携を強化し、適切に各事業のPRを行なうとともに、組織体制の強化、法令遵守の徹底、リスクマネジメントへの取組み等、役職員の資質向上に努め、地域に理解され支持される社協づくりを目指します。

社会福祉法人音更町社会福祉協議会
〒080-0101 音更町大通 11 丁目 1 番地 音更町総合福祉センター内
TEL : 42-2400 FAX : 42-5481

基本計画 1

「みんなで支え合う地域づくり」

実践目標	実践計画
地域交流の促進と心とからだの健康づくり	地域交流サロン事業
	喫茶はっぴい～の運営
	認知症カフェ事業
	音更町ふれあいの家事業
	ふまねっと活動の普及促進
障がい者の社会参加の促進	喫茶はっぴい～運営（再掲）
子育て世帯への支援	子育てサロン運営支援
	子ども食堂の運営支援
	ひとり親家庭支援事業
ひとり暮らし高齢者の支援	歳末ふれあい事業
高齢者の就労支援	高齢者就労センター事業

基本計画 2

「地域づくりを主体的に担う人づくり」

実践目標	実践計画
地域で支える仕組みづくりと担い手の養成	生活支援体制整備事業
	コミュニティサポーターの養成
	ボランティアセンター事業の強化
	おとふけ生きいきポイント事業
地域福祉への理解の促進	大谷短期大学との連携事業
	福祉教育の推進
	社会福祉士養成実習受入れ

基本計画 3

「安心して暮らし続けられる地域づくり」

実践目標	実践計画
権利擁護事業の推進	日常生活自立支援事業の促進
	音更町成年後見サポートセンター事業
	法人後見事業
	死後事務委任・保証人機能補完事業の検討
相談支援体制の強化・充実	コミュニティサポート見守り訪問事業
	コミュニティサポートあんしんお預かり事業
	コミュニティサポート緊急時安否確認事業
	福祉用具の貸出
生活困窮者の自立支援	生活福祉資金貸付事業
	生活困窮者に対する安心サポート事業
	応急生活資金貸付事業
	フードバンクの実施
災害に備えた体制整備	災害ボランティアセンターの設置運営準備

基本計画 4

「地域に理解され支持される社協づくり」

実践目標	実践計画
地域に理解される社協づくりの推進	社協だより、ホームページでの周知
	SNSの活用による情報発信
	福祉まつりの開催
	出前講座の実施
健全な財務運営と財源の安定的確保	会費・寄付金の確保
	共同募金運動のみえる化
	中長期的な財政計画の検討
地域福祉を支える団体の支援とネットワークづくり	共同募金委員会
	老人クラブ連合会
	町内社会福祉法人連絡会
	地域福祉活動補助金交付事業
役職員の資質向上	役職員の計画的な研修の実施
	専門性を担保した職員の育成
	働きがいのある職場環境づくりの検討

地域福祉実践計画の全文は、社協のホームページでご覧いただけます。

音更町社協

検索



令和4年度 市民後見人養成研修



音更町では、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が十分ではない人の権利を守るため、財産管理や日常生活でのさまざまな契約等の後見業務を行なうことができる知識・技量を備えた「市民後見人」を養成する研修を開催します。

なお、市民後見人として活動するためには原則、養成研修のすべての講義を受講することが必要です。

受講生
募集します！

- 日 程 令和4年8月18日（木）～ 令和4年9月29日（木）の毎週木曜日
13時30分～ 17時00分 （一部日程は変則時間） 予定
※詳細は右記「音更町市民後見人養成研修カリキュラム」のとおり
- 会 場 音更町総合福祉センター（音更町大通11丁目1番地）
- 内 容 ※別紙「令和4年度 音更町市民後見人養成研修受講者募集要項」のとおり
- 対 象 ①研修終了予定日において、満25歳以上で、現に音更町に居住する者
②これまでに未成年後見人、成年後見人、保佐人、補助人を解任されたことがない者
③破産していない者
④音更町市民後見人養成研修を修了されていない者
⑤原則としてすべての研修カリキュラムを受講できる見込みがある者
- 受講料 無料 但し、教科書代（2,277円）受講者負担
- 募集期間 令和4年6月27日（月）～令和4年7月22日（金） 必着
- 定 員 10名（申込先着順で、定員になり次第、締切らせていただきます。）
- 申込方法 別紙「市民後見人養成研修受講申込書」に必要事項を記載し写真（縦3cm×横2.5cm、裏面に記名）を貼付したものを、音更町社会福祉協議会まで郵送又はご持参下さい。
※募集要項、申込書等は、音更町社会福祉協議会窓口・ホームページまたは、町内コミセンなどで取得できます。
- そ の 他 全カリキュラムを修了した方には修了証が発行されます。
※新型コロナウイルス感染状況により、延期、または中止となる場合がございます。

----- 申込・問い合わせ先 -----

社会福祉法人音更町社会福祉協議会（ホームページ <http://otofuke-shakyo.jp/>）
〒080-0101 音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内
電話 42-2400



令和4年度市民後見人養成研修カリキュラム



会場：音更町総合福祉センター 1階 中集会室

回	月・日	曜日	時間帯	単位	分	研修内容	講師	
第1回	8/18	木	1	13:30~13:50		開講式 ・ オリエンテーション		
			2	13:50~15:50	2	120	市民後見概論	社会福祉士 宮澤 英雄 氏
			3	16:00~17:00	1	60	権利擁護の理念	
第2回	8/25	木	4	13:30~14:30	1	60	民法（財産法・家族法）	弁護士 岩崎 優子 氏
			5	14:40~15:40	1	60	成年後見制度概論Ⅰ（法定後見）	
			6	15:50~16:50	1	60	成年後見制度概論Ⅱ（任意後見）	
第3回	9/1	木	7	13:30~14:30	1	60	認知症の理解	帯広大谷短期大学 小林 聖恵 氏
			8	14:40~15:40	1	60	障がい者の理解	十勝障がい者総合相談支援センター
			9	15:50~16:50	1	60	意思決定支援について	社会福祉士 宮澤 英雄 氏
第4回	9/8	木	10	13:30~14:30	1	60	後見実務Ⅰ（申立て）	司法書士 遠藤 豊和 氏
			11	14:40~15:40	1	60	後見実務Ⅱ（報告）	
			12	15:50~16:50	1	60	後見実務Ⅲ（終了）	
第5回	9/15	木	15	13:30~14:00	0.5	30	地域包括支援センターの役割・ 高齢者虐待防止	高齢者福祉課 包括支援係
			16	14:00~14:30	0.5	30	介護保険制度	高齢者福祉課 介護保険係
			17	14:40~15:10	0.5	30	障がい者施策	福祉課 障がい福祉係
			18	15:10~15:40	0.5	30	生活保護制度	福祉課 福祉係
			19	15:50~16:20	0.5	30	社会福祉協議会(コミサポ)とは	社会福祉協議会
			20	16:30~17:30	1	60	日常生活自立支援事業について	社会福祉協議会
第6回	9/22	木	13	13:30~15:40	2	120	対人援助の基礎	帯広大谷短期大学 佐藤 英晶 氏
			14	15:50~16:50	1	60	家庭裁判所の機能と役割	釧路地方家庭裁判所帯広支部
			21	受講申込時	1		レポート	エントリーシート
			22	研修最終日	2			
第7回	9/29	木	23	13:30~14:00	0.5	30	受講生スピーチ	受講生
			24	14:10~15:20	1	60	今後の活動と心構え (法人後見支援員の登録と活動)	社会福祉協議会
			25	15:30~16:30	0.5	30	実践報告	支援員
			26	16:30~			閉講式	

今年度は、音更町、幕別町、池田町、芽室町との合同開催となります。

音更町総合福祉センター内では音更町在住の参加者に集まっていたいただき、他町村参加者は、Zoomによるオンライン参加となります。

各講師については、音更町総合福祉センターにて講義予定です。（新型コロナウイルス感染状況により変更される場合があります。）

成年後見サポートセンター便り



地域福祉係 藤川

成年後見制度等の情報を、年間を通してお伝えします。

前回号のおさらい

- ・成年後見制度とは、判断能力が低下してしまった方に対し、不利益にならないよう法律面、生活面で支援し、財産や権利を守る制度です。
- ・成年後見制度（法定後見制度）は3つの類型として、後見類型、保佐類型、補助類型 があります。
- ・後見類型には成年後見人、保佐類型には保佐人、補助類型には補助人が選ばれます。

成年後見人等（※1）の職務について

（※1）成年後見人のほか、保佐人、補助人をいいます。

成年後見人は、本人の生活のために必要な以下の行為を行います。ただし保佐人、補助人は認められた権限の範囲内で代理権や同意権を行使し、以下の行為を行います。

①財産管理 : 財産を安全に維持保全したり、必要なサービス等を利用するために預貯金の出し入れや公共料金の支払いなど必要な実務を行います。

具体的な事務) 入院費、施設費の支払い、各種年金や還付等の受取、不動産の処分（家庭裁判所の許可が必要） など

②身上保護（監護）事務 : 必要な医療・福祉サービスおよびそのための契約締結、住居に関すること、異議申し立てなどの実務を行います。

具体的な事務) 入院手続き、施設契約手続き、福祉サービスの利用申込み など

～成年後見人等では出来ない事～

- ・入院、施設契約等に関する身元保証人、身元引受人
- ・医療に関する同意など（身体の強制を伴う事項）
- ・結婚、養子縁組、遺言などの一身専属的な行為
- ・介護行為などの事実行為
- ・本人が購入した日用品購入の取り消し



成年後見人等に選任される代表的な方

- ①弁護士 ②司法書士 ③社会福祉士 ④社会福祉法人などの法人（法人後見）
⑤親族 ⑥市民後見人 などがいます。

選任される方については、最終的には家庭裁判所によって、成年被後見人等の親族状況や資産、福祉的な支援の必要性、実務の複雑さ等を総合的に判断して決められます。

💡ポイント！

近年、「親族」は後見人等に選任されることが減少していました。しかし、本人保護の観点から、後見人になるにふさわしい親族等の身近な支援者がいる場合は、「親族」を選任することが望ましいと、2019年3月最高裁が判断しています。ただし、親族で後見人等を受任することが難しい場合が多く、成年後見制度の利用促進に向けて、さらなる検討がされています。

- 次回の社協だよりでは、
○ ・法人後見とは？
○ ・音更町成年後見サポートセンターとは？
○ などについてお伝えします。

住民同士の支え合いの仕組みづくり

高齢化が進む中、医療・介護の負担はどんどん増えていき、これまで以上に地域の中の支え合いの仕組みが重要になってきます。

その前提として支え合いの関係づくりのために人が集まり交流する場が必要となりますが、新型コロナ禍では、これまで行われてきた地域交流サロンや老人クラブ、町内会などさまざまな集まりが困難な状況となりました。新型コロナ禍でも、感染予防対策を講じながらの活動が少しずつですが行われていますので紹介します。



地域農園事業

今年から2ヵ所に!!

農作業を通じた外出の機会、社会参加の場となることを目的として地域農園事業に取り組んでいます。昨年度から始まった地域農園「話花（はなばな）」（社会福祉法人音更町柏寿協会）は、2年目となり、メンバーも増え、にぎやかに作業を進めています。

また、今年度から、医療法人社団博愛会の「ことの葉おとふけ」の敷地内にある畑を使わせていただき、2か所目の地域農園を開設することができました。

地域農園が、地域住民、施設入所者の皆様の交流の場となるようにお手伝いしていただければと思います。



音更高校元教員で農作業経験がある平田松征さんのご指導のもと作業を行っています！



「話花」（音更町柏寿協会）



「ことの葉おとふけ」（博愛会）

ラジオ体操活動開始4年目♪

令和元年から始まった住民有志のラジオ体操の会（本会が後援）も今年で4年目を迎えました。

	場 所	日 時
おはよう広場	総合福祉センター前	5月9日～10月31日 平日6時30分
みんなでラジオ体操	雄飛が丘南公園	5月9日～10月28日 隔週平日7時00分



おはよう広場



みんなでラジオ体操

「スマイルサロンひびき野」6月からオープン！！

本会では、町民誰もが、気軽に、無理なく、楽しく利用できる「地域の中の居場所」として、地域の世話人の方々によって運営される「地域交流サロン」が町内の各地域に広がるようにサポートしています。6月18日（土）から「スマイルサロンひびき野」がオープンしました。子育て世帯からお年寄りまでどなたでも参加お待ちしております。

6月オープンでは、劇団ほうき座の皆さんが子どもから大人まで楽しめる絵本の読み聞かせを披露してくれました。7月以降もお茶飲みや皆さんと考える楽しい企画（スクラッチアートや革細工など）を行っていく予定です。



スマイルサロンひびき野

「スマイルサロンひびき野」

- ・場 所：ひびき野会館（ひびき野仲町1丁目6）
- ・日 時：毎月第3土曜日10時00分～12時00分
- ・参加費：1回100円（お茶菓子代）※中学生以下無料

老人クラブ連合会事務局からのお知らせ

●音更町老人クラブ連合会総会

新型コロナ禍ではありますが、参加定員を例年の半数にして、4月19日（火）午後1時30分から、町総合福祉センターで令和4年度音更町老人クラブ連合会総会を開催しました。まず、功労者表彰が行われ、被表彰者に表彰状と記念品を贈呈しました。

議事では、報告事項として、「事業報告」「会計決算報告及び監査報告」等について異議なく承認され、続いて提案された「新年度事業計画及び会計予算の両案」についても満場一致で決定されました。



○功労者表彰受賞者

玉置 洋 様

（北蘭友愛クラブ・町老連役員 6年間）

●音更町老人クラブ連合会ゲートボール大会

第41回音更町老連ゲートボール大会を5月27日（金）、下土幌ゲートボール場で開催し、7チーム42名の選手が参加くださいました。

試合結果は、優勝・南中音更、準優勝・西中音更、3位・豊田・東土幌混成、4位・むつみBの各チームでした。この上位4チームは6月24日芽室健康プラザで開催される十勝地区大会に出場できるようになっています。



優秀：南中音更チーム

高齢者就労センター会員募集！！



公共業務（草取り・草刈・リサイクル作業等）や、ご家庭から高齢者向きのお仕事を引き受けて、知識や経験、技術に見合ったお仕事を会員の方に紹介します。

- 原則として町内在住の概ね60歳以上の健康な方であれば会員登録できます。
- 働いた内容に応じ、毎月決められた日に配分金が支払われます。

それぞれにあった作業を
紹介します



●屋内外作業

草刈、草取り、庭木剪定、畑おこし、室内清掃、除雪など

●農作業

芋、長芋、ビート等の収穫支援

●事務作業

年賀状や封筒の宛名書き、賞状部分書き

●資源ごみ収集作業

音更町からの委託を受け町内の資源ごみの収集運搬業務を行っております。



※現在、資源ごみ収集作業、草取り作業をしていただける方を特に募集しています。

問い合わせ 高齢者就労センター (☎42-3335)

フードバンク事業にご協力ください！！

本年4月から何らかの理由から日々の食事にお困りの世帯へ食料品等を提供する「フードバンク事業」を開始いたしました。

これまで町内の個人、団体様より多くの食料品等をご寄付いただいております。

ご寄付いただいた品物については、現在総合福祉センター内で保管を行い、生活相談に来所された方に必要に応じてお渡ししているほか、状況に応じて職員がご自宅まで伺ってお渡しする場合があります。

今後この事業を進めていくうえで、改めて皆様へ食料品等のご提供をお願い申し上げるとともに、現在生活にお困りの方がおりましたら、お気軽に社会福祉協議会までご相談ください。

●寄付食料品の条件

- ・未開封の食品（包装等が破損していないこと）
- ・賞味期限、消費期限が明記されており、1か月以上の残存期間があること
- ・常温で保存可能
- ・製造者名が明記されていること
- ・その他、洗剤、トイレットペーパー等の日用品についてもお受けします



* ご厚志ありがとうございました * 令和4年3月1日~令和4年5月31日

預託されました浄財を紹介いたします。 預託された浄財は配分先において有効に活用させていただきます。

社会福祉協議会の行ってます各種事業は、会員皆様の会費と寄付金等を主な財源として行っております。今後とも会員加入とご寄付につきまして、ご支援ご協力いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

◎金 銭 (敬称略)

寄 付 者 氏 名	寄付金 (円)	寄 付 金 使 途
内藤善光	100,000	社協事業へ
JA木野女性部	50,000	
宝来清風会	2,448	
矢竹敏江	2,000	
木野村英六	50,000	
五十川勝美	180,000	子ども食堂
匿名	5,000	ラジオ体操
音更町農業協同組合	50,000	フードバンク事業

お詫びと訂正

社協だより152号掲載に誤りがございました。お詫びして訂正させていただきます。

河田 敬貴 様 寄付金の表記

誤 10,000円 → 正 100,000円

◎物 品 (敬称略)

預託品名	預託者氏名	数 量	預託先
リングプル	下音更小学校	29kg	プルネット
	柳町団地自治会	6kg	
	社福)音更町柏寿協会	72kg	
	青葉町内会	13kg	
	音更町農協女性部	15kg	
	音更晩成園デイサポートさ〜くる	8.7kg	
	国際ソロプチミストおとふけ	4.6kg	
	公明党 北十勝支部	36kg	
	JA菜の花	5.8kg	
	伊藤 友三	13.8kg	
	清和いきいきクラブ	1.25kg	
	小見山 節子	2.8kg	
	宅原 キエ子	1.5kg	
	小西 ひとみ	15kg	
	木野温泉	1.55kg	
南出 英夫	100kg		
使用済み切手	匿名	52枚	北海道ユニセフ
	音更町農協女性部	1.8kg	
	公明党 北十勝支部	4,110枚	
	音更町商工会女性部	2.8kg	
	音更晩成園デイサポートさ〜くる	数量不明	
	JA木野 女性部	700枚	
	JA菜の花	1,117枚	
	清和いきいきクラブ	50枚	
	国際ソロプチミストおとふけ	8,689枚	
	杉本 篤美	数量不明	
	年金者組合 音更支部女性部	434枚	
あんじゅ音更	1kg		
使用済テレカ	公明党 北十勝支部	9枚	
	JA菜の花	25枚	
	国際ソロプチミストおとふけ	36枚	
書き損じはがき	公明党 北十勝支部	315枚	
未使用はがき	匿名	30枚	

預託品名	預託者氏名	数 量	預託先
ベルマーク	公明党 北十勝支部	1334.2点	町内小学校
タオル類・ウエス	音更町農協女性部	549枚	町内施設
	音更町商工会女性部	192枚	
	JA菜の花	148枚	
	音更ライオンズクラブ	222枚	
	国際ソロプチミストおとふけ	7kg	
	安田 喜久男	数量不明	
紙おむつ	匿名	7袋	町内施設
紙パット	匿名	13袋	
ティッシュペーパー	国際ソロプチミストおとふけ	170箱	
トイレットペーパー	国際ソロプチミストおとふけ	21袋	
洗剤等	匿名	台所洗剤等各種	センターロビーに設置 福祉用具貸出用
刈払機 刃	匿名	32枚	
除菌機	高田 徹子	1台	
ポータブルトイレ	植村 齊	1個	
じゃがいも	匿名	20kg	
米	木野村 英六	15kg	
	匿名	5kg	
	小野 博克	6kg	
	匿名	32.5kg	
音更町役場	250食	フードバンク事業	
日用品	匿名		252個
マスク	音更環境管理センター	1,000枚	
	匿名	120枚	
食料品	音更町役場	576点	
	音更町農協女性部	280点	
	匿名	缶詰等各種	
匿名	匿名	74点	
粉ミルク等	音更町役場	31点	



喫茶店で楽しく活動しませんか？

音更町社会福祉協議会では、心身に障がいがあったり、外出の機会の少ない方の就労場所として「喫茶はっぴい〜」を運営しています。作業の中で何か自分の得意とするものを見つけて、楽しい生活を送ることができるように本会で支援いたします。

まずは、ご本人やご家族の方、見学だけでもOKです。お気軽にお問い合わせください。

【主なお仕事の内容】 ●開店・閉店の準備や片づけ ●コーヒーなど飲み物の提供 ●接客 ●食器洗い ●会計 など

【利用の条件】 ●音更町に在住の概ね18歳以上の方（経験がなくても大丈夫！障害者手帳等の有無は問いません）



●お仕事 1回につき1,000円の支援費をお支払します

【場 所】 「喫茶はっぴい〜」 音更町大通11丁目1番地 総合福祉センター内

【時 間】 午前10時~午後3時00分 ※月4回程度の活動（土・日・祝祭日・休館日除く）

【問合せ】 住所：音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内 電話：0155-42-5005（担当：加藤）